

キリシタンの墓

迷路（1）

小山牧子
え・石阪春生

あらすじ 二年前短期大学を卒業した佳は、母親蘭子との生活に恵みを感じ、米園系海運会社のエイジメントに勤めに出ることにした。ある夜バスのヒギンズ氏とともに訪れた願成寺で、佳は村重船長と名乗る老人に会う。なぜかこの老人にひかれた佳はある日願成寺を訪ねこの老人の部屋の飾り台の上に、すでに褐色に色をかえた若き頃の自分の父、村林裕作の写真を発見する。老人の口から解き明された、自分の今まで知らなかった、この老人と父の秘密に佳の心は激しく動搖した。

女の心のゆとりを感じさせ、その余裕のあるさまが、若い佳をまたも傷つけた。

そんなとき、佳にできる唯一の抵抗は、自分自身を必要以上に汚してみせることだ。

「煙草吸つてもいい？」

「ケイ……」

眉をひそめ、悲し気な視線をむけてくる蘭子の前で、

スラックスのポケットにねじこんでいたロングビースの

紙袋をとりだし、その一本に火をつけてやる。願成寺で

村重船長に会って以来の数日、不機嫌に黙りこんで過ごした佳である。しかし、きょうは、蘭子とぜひゆっくり

と話さねばならない。

村重船長の話の真偽を問うことができないまでも、な

にかあの父の過去にまつわりつく薄幸の少女が本当に実

在したかどうかぐらいは、蘭子と話すことでたしかめら

れようではないか。

「ねえ、ケイ。わたしは、もうとっくにパパが大得意で

「ケイの名前？ また、変な人ねえ。いまごろになつて

そんなこと聞くなんて……」

答える蘭子の表情には、みじんの動搖の気配もない。

唇だけで笑う例の蘭子特有のいい顔が、中年をむかえた

「ねえ、ケイ。わたしは、もうとっくにパパが大得意で

話していたとおもつっていたのよ」

言い訳がましく言う蘭子の顔にとどけとばかり、紫の煙を勢いよくとともに佳は吹きつける。

「だつてケイが生まれる前から、パパはもう佳つて名前かんがえて、大きな字で書き残して航海に出ていったんですもの……」

「まあ……。だつたら、男の子が生まれたらどうするつもりだつたの？」

「男の子だつたら、佳の下に悟つて字をつけるようつて言いつけられたわ」

「佳悟……。そう、どちらになつても佳つて字には変わりがないのね」

佳は、じつと蘭子の表情をうかがい続けた。

「ママ、知つてゐる？ なぜパパがそんなに佳つて字にこだわり続けたのか」

「さあ……」

「佳き人の佳。由緒正しく佳き人である佳、佳、佳か……」

蘭子の注意をひくように、意味ありげな、ゆっくりとした口調で言つてみる。

「かくしたつてだめよ。ママ、わたしは知つているんだから。知つてしまつたんだから――」

いつの間にか、蘭子の口辺から微笑は消えていた。その表情におもいなしか強いものが漲つてゐる。

「パパがどうして佳という名をつけたがつたのか、わたしは知らないわ。たぶん、パパの好きな字だったのだとおもうけど」

「この女狐！」

人ごとのような考え方をする蘭子を、佳は憎いとおもつた。

「だつてママ。わたしはママの生んでくれた子でしょ。パパの言う通りの名前になど、なぜしたの？ なぜ反対しなかつたの？」

口調するどく佳の目を、蘭子は見返し、

「どうして、ケイ。なぜ反対しなければならないの？ 佳つて名、とても素敵よ。ママも大好きになつたんだも

蘭子は、佳がもくつかせた煙草の煙に当惑したかのよう目に細める。と、再び心にゆとりを取りもどしたのか、口辺に微笑の影を宿した。半眼に閉じた目と口辺にただよう微笑――。佳には、その表情がたかぶる感情の動きを娘の目から遮断するとばかりとおもえる。そしてその一見ゆたかさとも見まがう表情はまた、父にゆかりをもつ若い女について一言半句も蘭子の口から語りあかすことを拒む軽さをも持っていた。

蘭子の強さにはじかれた佳は、空になつた食器の中で煙草の火をもみ消し、立ち上がつた。

「わたし嫌いだわ。佳なんて名前、大嫌いだわ」

「ケイ……。なぜ？ 今までそんなこと言つたこともなかつたのに」

背後から不安気に見送る蘭子を尻目に、佳は足音も荒々しく広間を横切り、白室への階段を駆け登る。

「いいんだ女狐め！ これだから、わたしはママが嫌いなんだ。弱味を見せないで生きてゆくことだけが最上の生き方だとおもいこみ、いつも娘のわたしにさえも打ち解けて話そうとはしない。これだから、パパだって、ママを煙たがるだけで、ちつとも情が移らないでいままできたんだ――」

願成寺から車を走らせて館に帰りついたときにはそうしたように、佳は再び自室のソファに身体をうずめこみ立てた両膝の上にアゴをのせる佳特有の考えにふけるときの姿勢になつた。

きょう、蘭子と打ち解けて話し、村重船長が語つた父の秘密の確証をつかみ、もしできれば、その秘密を母の蘭子がどのように受け止め、二十五年近くの結婚生活を続けてきたのかをも聞きだしておきたいとの佳の意図は、蘭子のゆるぎなさの前でもろくもくずれた。

佳は、限りなく孤独であった。娘の問いをはぐらかす蘭子のゆるぎなさは、佳を子供あつかいにしているふてぶてしい中年女の貫禄を感じさせる。

それに、あれほど自分だけのものと信じ、熱っぽく帰

港の日を待ち望んでいたる父裕作に、佳にさえもあかさぬロマンスがあったとは——。

佳は、あの日、村重船長にあつて以来、自分の内部の密室で自問し自答し続けたきりもない縁言の迷路へと、再びのめりこんでいったのである。

——パパのファインセが別にいたなんて嘘つばらだ。若い青年将校にありがちのちょっとしたエピソードに過ぎなかつたのだ。

——ではなぜ、あの老人ははつきりとわたくち家族のことを知つていたのだ。

——知りあいだったことに間違いない。ささいなエピソードをあんなふうでつちあげたのは、老人の孤独のせいだろう。

——だけど、それではなぜ、あの老人の話が事実であるとうなづけるほど、佳の両親は冷えきっているのか。佳の友人たちの父母がそうであるように、娘の佳を問にはさんで仲むつまじく外出するといつたほほえましい情景を、佳はかつて見たことがあるか?

——ない。一度もないのだが、それは他の家と異なり、

パパもママも忙がし過ぎるからだ。パパは外国航路の船長。ママは女流歌人。平凡な家庭とは違うのだ。

佳の口もとが皮肉な嗤いでゆがんだ。
——だが、そんなことが、パパとママの愛しあえない原因になるだろうか。

——違う。違う!
真の美しい少女の面影がよぎり過ぎた。そして、その面影は、母の蘭子、父の裕作などがもつ人間臭さ、佳と血をわからあつたゆえに互いにもちあう愛憎の重さわざらわしさ、つまり現実のもつ生臭さを淨化したもののみがもつりんりんと澄んだ美しさで佳に語りかけてくるのである。

由佳子! 由佳子の話を聞いたときもいまも、佳はその秘密を佳に對してもつた父や蘭子を憎みはした。が、決してあの美しい少女、由佳子を憎むことはなかつた。

——由佳子…… そつと小さく佳はつぶやいてみる。
——由佳子、きれいな人。わたし、ママよりもあんたの方が好きになつてしまいそうだわ。それにしても変だわ、わたしは、なぜだからあんたのことがもっと知りたいの。わたしのようく船乗りの父親をもつて、病氣をして、淋しく死んでいたんだって……。ママはどうしたの?



縁言の迷路をたどつてここまできたとき、佳は凝然として身を起こした。

老人の話からは、一言も彼の妻についての追憶は語られなかつた。彼の妻は死んだのか? いや、あの老人にま

オール関西

〈4月号予告〉

★特集 心斎橋を考える

対談 中馬 馨大阪市長——井狩大丸社長
座談会

随筆構成 心斎橋物語
銘店を訪ねる 心斎橋20店

★特集 関西と青年会議所

青年会議所関西ブロック会によせて

★グラビア連載企画

関西7人シリーズ② 関西の芸妓はん
And his Ladies② 原清 朝日放送社長
京のやど② 伏見・寺田屋

★異色対談

藤岡啄也——多田道太郎

★連載隨想

鈴木 剛 ホテルプラザ社長

★関西をガイドするタウンカレンダー

美術ガイド
映画ガイド
PLAY DRINK
関西の味

★創作

谷間のロビンソン(下) 黒部 享
え・黒崎彰
草書体 猿飛佐助 第二回 神坂次郎
え・片岡慎太郎

表紙 池田遙邨
巻頭詩 伊勢田史郎・カット河野通紀

・オール関西編集部
大阪市北区曾根崎上1丁目30
八千代会館3F TEL (06) 313-2635・0588

つわる暗い影の部分。仕事中に娘を病死させただけで、男はあのようにいびつにゆがむものだろうか。否、否である。

佳もちまえの強い好奇心が、再び猛然と頭をもたげた。

調べてやる。つきとめてやる!



窓外は、いつかとっぴりと夜の闇に塗りつぶされていった。重厚に繁る森と虚空との区別はつかない。樹林からたちのぼるむせっぽい体臭は、墨色の虚空にみち、それは爛熟した春の息吹となつて館の周囲と、佳の燃える若い肉体の周囲でうずまいていた。

木立の上の厚い闇の層を、鋸びたのこぎりの刃で切り裂くように、野鳥が鋭い鳴声をあげる。

やがて、ソファから立ちあがったとき、佳はその闇の中で燃えかかる一本の若木に変身していた。

——パパの部屋にいこう。あそこには、わたしが知られなければならないことが、ひとつりと隠されているはずだ。パパの部屋へ。さあ、パパの部屋へ!

蘭子の耳にとどかぬよう、足音をしのばせて歩く佳の目の前に、無数の闇の迷路が、もつれあいどこまでも続いている。佳は、その迷路の果てに光源のように光る女の白い美しい顔を凝視していた。

——由佳子!!

(つづく)



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
フナキヤ

元町3 TEL <32> 0356



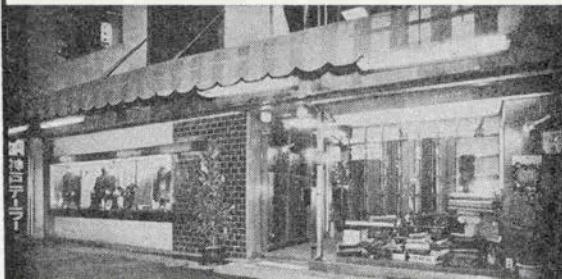
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

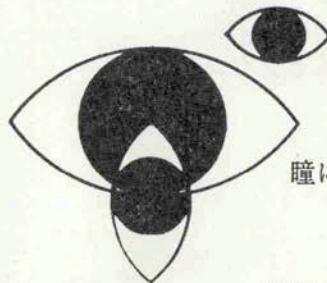
元町4丁目 TEL ⑧4 7290

高級紳士服専門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL ⑨0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ⑧3 2817-3173

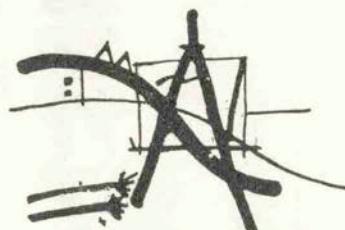


瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161- (23) 2570

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品

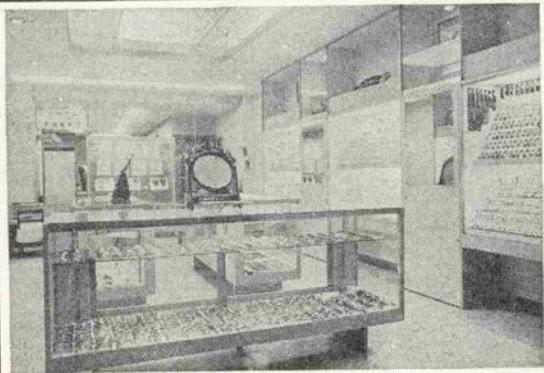
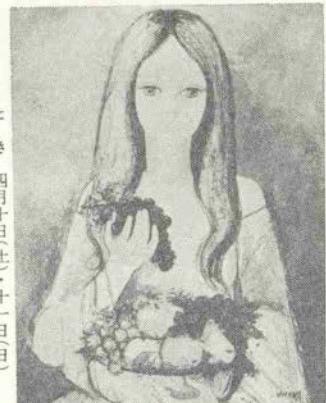


末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
TEL 03-1309-6234



ヨーロッパ現代画家新作展
一点・一万五千円より平均三万円前後
とき
ところ
主催
サンレイ
TEL二二一九七二三
四月十日(土)・十一日(日)
A.M.10:00~P.M.7:00
芦屋公民館二階ホール
神戸国際会館一階



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町4丁目 TEL 03-6195

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十一年
履物の山下
古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店
神戸三宮センター街 TEL (03) 0256

やつぱりうまい
むさしのどんかつ

おすん
てんぶら

榮彌

本店 大丸前・三宮神社東

TEL (33) 56772
(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味のれん街
TEL (39) 55233
(第3水曜日休み)

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.00




コベ三宮

でんわ
32 32 33
一〇六三七七一
三四五

ムサシ

大黒正宗




スタンド
桑畑房子

茗香

リラックスした
ひとときを……

コウベビル地下
TEL 33-6763



酒徒なれば
だれもが選ぶ
大黒正宗
灘の生一本

清酒 大黒正宗

安福又四郎商店醸

Stand ザ・3
THE THREE

神戸市生田区下山手通1丁目5
(ゼウスタウンビル2F)
TEL078(39)4940



★三ちゃんで親しまれている岩崎利之さんはこのほど、東門筋ゼウスタウンビル2階にスタンド「ザ・3」(ザ・スリー)を開いた。ザ・スリーというのはお客さんとお店とお酒の三つの意味があるということです。店内のスタンドは気安い酒好きにぴったりのリラックスなムードづくりをしている。カクテル専門店というだけあって岩崎さんは、昨年のJBA全国コンクールでは全国10人のパートナーに選ばれ、また昭和33年にはカクテルコンクールで「青い月影」と「カリフォルニアフィーズ」で優勝したという腕きき。洋酒ファンには嬉しいお店のオープンといえる。

水割り¥350 ビール¥200 ポルシチ¥350

P.M.6:00~A.M.12:00 第3日曜日は休み。

DRINKING

SNACK & DRINK

フルール

生田区中山手通1丁目13
天成ビルB1
TEL39-1366

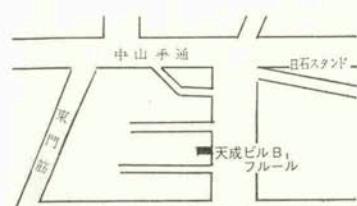


★四月ともなると妙に心がうきうきするものだ。花の香りをいっぱいのせて、暖かい春がやってきたせいかもしれない。昨秋オープンしたばかりのこの「フルール」は今年はじめて春を迎えた。花がとっても好きだというママの赤沢れい子さんは、そのやさしい人柄で飲む人の心をしらずしらずのうちに暖かくつつんでしまう。店内にはゆったりとした広いカウンターの他に、ゴージャスなインテリアのボックス席もあり、クラブのように溶かしたムードで飲めると好評だ。また気軽に食事もできるので大変重宝がられている。

ビール¥250円 カクテル¥400円 フィーズ¥400円

ステーキ¥1,800円と1,000円 バター焼¥700円 お茶漬¥350円

P.M.6:00~A.M.3:00 第1、第3日曜は休みます。



曲線ハイウェイ

武田繁太郎
え・横塚繁



★あらすじ 浜名湖サービス・エリアで、多木洋介は若い神戸の女性、宇津康子を知る。MVハーデトップを駆って、夕暮と共に、多木は康子とともに館山寺湖畔のホテルに入る。それから十日後、二人は久し振りに浜名湖SAで逢瀬を持ち、朝霧の高原で愛を確かめあつた。身許をあがそとはしない康子は、その後も十日か半月おきぐらいに、多木にディートの電話をかけてきた。康子の正体を知るために、多木は神戸出身の友だち岡本和彦を訪ねた。岡本はちょうどそこまで行くかのように女友達ルミと多木を誘つて、東名神を神戸に向かつた。岡本は浜名湖SAまでノンストップで運転してやつとレストランで一眼した。そして目指す神戸にやつてきた。多木洋介は、そこで、岡本和彦とその友だちの横井郁夫に逢い、康子の正体をさがし出すための第一歩をふみ出した。

レストランKは、見晴らしのいい背山の中腹にあつた。海岸ちかくのOホテルから、一行四人を乗せた岡本の会社の車が、広い大通りを真直ぐ山の手方向にむかひ、急な坂道を登りつめた高台の一角に、そのしやれた店はあつた。

「すばらしい眺めだなあ」

ボーイに案内されて、窓ぎわのテーブルにつくなり、多木は、眼下にひろがる神戸の夜景の美しさに目をみはつた。

「この店の自慢の眺めなんですね」

横井郁夫が註釈した。

「百万ドルの夜景ってやつですね」

多木も、話にきいていて、うなずいた。ここで、音にきこえたその百万ドルの夜景をながめながら、名物のコベビーフをたっぷり賞味させようという趣向なのであ

るう。

「多木は比叡山に登ったことがあるか」

岡本が、料理よりさきに運ばれてきたビールを呑みながらたずねた。多木も、グラスを傾けて言つた。

「東名が開通したとき、いちどいいたことがあるよ」

「あの山のうえに、Hホテルがある」

「うむ。おれも泊つたよ」

「じゃ、おぼえているだろうが、あのホテルのまえに小高い山があつて、山の右手に京都の町の灯がみえ、左手に大津の町の灯と琵琶湖がみえる」

「そういえば、あの夜景もよかつたな」

「うむ。地元じゃ、あの山上からの眺めを、二千万ドルの夜景だといつてるんだ」

「へーえ。じゃ、神戸のこの夜景とは一ヶタもちがうのね？」

「そんなに、二十倍もすてきなの？」

ルミが、おどけたように目をまるくしてたずねた。

「うむ。まあ、すてきはすてきだけどな。地元じゃ、さ

いしょは、神戸の夜景が百万ドルなら、こっちは、京都百万ドル、大津百万ドルで、合計二百万ドルの夜景にしようかと考えた。だけど、二百万ドルなんて、語呂がわるいし、変わりばえがせん。じゃ、いっそ一ヶタあげて、二千万ドルにしちまえってことになつたといふんだな。ウソかホントか知らんが、観光業者の思いつきそうな話だよ」

「だけど、横文字って、変なものね」

「どうして？」

「だってさ、百万ドルは三億六千万円でしょ。だけど、百万ドルの夜景つて言えば、なんとなくしゃれてきこえるけど、三億六千万円の夜景じゃ、サマにならないじゃない？」

「二千万ドルの夜景なら、三十六億円の夜景、まるでメロメロ。やっぱり、百万ドルの夜景、二千万ドルの夜景でなくちゃねえ」

「妙な計算をするやつだな」

三人の男たちは笑いだしたが、そこへ、それぞれに焼き

加減を注文したテキが運ばれてきた。

「こりや、すごいボリュームだな」

はじめてお目にかかる『本場のテキ』に、多木は感嘆の声をあげた。東京で食べているテキの倍ほどの大きさで、厚さも三センチちかくはある。ジユッジユッ、まだ音でもたてていそうな、こんがり焼きあがつたばかりの肉の肌から、豊潤なビーフ独特の香がにおいたつていた。

「このボリュームじゃ、食べるって言うよりも、アタックするようなもんだな」

多木は、舌なめずりする思いで、フォークとナイフをとりあげたが、厚味のある肉が、ナイフをいれると、弾力がありながら、意外と柔らかい。ひと口、口にいれば、そのまま溶けてしまいそうであった。ほのかにミルクの匂いがした。これが、ホンモノのビーフの香なのであるうか。

「どうだ？」

岡本が、自分も大きな肉片を頬ばりながらたずねた。

「うまい！」

多木には、うまいと言うよりほか言葉もない思いだった、噛みしめれば、こつてりとしたあぶらが口中にひろがりながら、これも意外なほどしつこさを感じさせない。いくら食べても、これなら、あきさせることはないとだろう。

「この店が、神戸でいちばんうまいのか

「もちろん、ここも名のとおつた店の一軒だが、しかし、この店にかぎらん。神戸じゃ、行きずりにとびこんだような店でも、みなうまいテキを食わせるよ。肉そのものがいいからだ」

「東京みたいに、店の構えだけはデラックスで、だされたテキは柄木あたりの百姓牛でがつかり、なんてことはないわけだな」

多木は、窓外をながめながらうなずいた。

のまきわにまでひろがっている。今夜は空もよく晴れて
いて、星屑が大阪湾上いっぱいにちらばり、暗い海を
間に、地上の街の灯と姫を競いあつてゐるようだつ
た。あれが波止場のあるあたりだらう。大きな船がみえ
た。舷側やデッキに点々とともつた灯が、船全体をほつ
とあかるく浮びあがらせている。多木の目には海に浮か
んだ幻想の船のようだ。潮の香がこの背山の
中腹までただよつてくるようだつた。

東京の高層ビルにも、最上階にレストランのあるビル
がふえてきて、どこにもぎわつてゐる。どうやら人間と
いう種族は、高い場所に登つて、地上をながめながらめ

岡本が、思いだしたようにたずねた。

「魚か。あんまり好きじゃないな」

多木は、このごろの若者らしくこたえた。

「鮎は好きだがな。にぎりにのつかつてある魚なら、な
んでも食うよ」

「多木は東京育ちだつたな」

「うむ。箱根から西はあんまり知らんほうだよ」

「だからだ。東京の連中は、ほんとうの魚のうまさを知
らんから、魚が好きになれないんだ」

「どうも魚というやつは、食うとき、あの骨が苦手だ
な」

「そりや、魚を毛嫌いして食いつけんから、食い方が下
手なんだよ。神戸は、肉もうまいが、魚もうまい。おれ
なんかも、子供のころから魚を食つて育つてきただので、
いまでも、肉も好きだが、どちらかと言えば、魚のほう
が好きなくらいだ。よく神戸へ帰つてくるのも、神戸の
うまい魚が食えるといふたのしみもあるからだ」

「そんなものかね」

多木は、魚など、鮎ダネ以外は、年寄りが好んで食う
ものだと、思いこんでいた。肉より魚が好きだと言つ
者など東京ではめつたにお目にかかつたことがない。彼
は、いささかあきれ顔で、岡本の顔をながめた。

「どうだ。あすはひとつ、うまい魚をご馳走しようか」



岡本が言いだした。

「そうだな。後学のために、魚というものがどんなにうまいものか、ご教授にあずかるう」「よし。じゃ、明石にでも食いにいこう。とびきりうまい、生きたやつをご馳走する」

岡本は、自分ののことのように張りきって言った。この若者は、年に似あわず、相当の魚マニアであるらしかった。

どこからともなく、ソフトな音楽がひびいてきた。生演奏のようであるが、この店にはバンドマンの姿はみあたらない。

「ああ。あれは、階下のクラブで演奏しているんです」

横井が、不審そうにあたりをみまわしている多木に言った。

「ここは、上がレストラン、下がクラブになっているんだ。あとで、ちょっとクラブのほうにも寄つてみよう」

岡本が言った。
コ一ベビーフをたつぶりたんのうして、デザートもすましたところで、四人は、階下のKクラブへおりていった。

このクラブも、神戸では名のとおった店らしく、広い店内にはおちついたムードがあり、醉客たちも、上客らしい年配の紳士が多かった。外人客の姿もみうけられた。

多木は、ふと、宇津康子もこの店は知つており、もしかしたら、今夜も、偶然いま、だれかとやつてきているのではないか、と、そんな予感をおぼえた。

彼の眼差しは、無意識に、ほの暗い店内のあちこちにうごめく人の影を追つていた。だが、むなしの妄想にすぎなかつた。彼の目がとらえたのは見ず知らずのさまざまに装おつた女たちの姿ばかりであった。

「なにをきよとんとした顔してるんだ？」

岡本がにやにや笑いながら言った。
「わかってるよ。いま、横井が電話をかけにひつている」

そう言えば、さつきから、横井がいなくなつていた。
「もうすぐ、召集をかけられたお嬢さん方がやってくるだろう。待つていろよ」
言い残すと、岡本は、ルミの腕をとつて、フロアのほうへでていった。

（つづく）

＜神戸の催し物 4月ご案内＞

＜音楽＞

★ブルガリア男性大合唱団

4月5日（月） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
入場料 S ¥1400 A ¥1400 B ¥1200 C ¥900
学生 ¥700

指揮／ジミートル・ルスコフ教授 外30名

★アルフレッドハウゼンゴ楽団

4月9日（金） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
民音 A ¥1600 B ¥1200

★フォーク・グループ「赤い鳥」公演

4月12日（月） P.M. 6:30開演 海員会館労音
会費750円

★オズモンブラーサーズショウ

4月13日（火） P.M. 6:30開演 入場料 S ¥2300
A ¥2200 B ¥1800 神戸国際会館

★セルジオメンデスコンサート

4月19日（月） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
入場料 特¥2700 S ¥2400 A ¥2000 B ¥1700
C ¥1500

★オスカーカービーターソントリオ

4月20日（火） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
入場料 A ¥1800 B ¥1600

★橋幸夫ショー

4月24日（土） P.M. 2:00と6:30開演 神戸国際会館
民音 会費850円

★ゲルバーピアノリサイタル

4月26日（月） P.M. 1:00開演 神戸国際会館
民音会員

★リリークラウスピアノリサイタル

4月28日（水） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
労音 会費1500円

★ダニエルビダルキャンペーン

4月30日（金） P.M. 6:30開演 神戸国際会館

＜舞踏＞

★花柳芳五三郎舞踏の会

4月4日（日） A.M. 10:00開演 神戸国際会館
入場料 ¥1500

★サラ・レサナーとフラメンコ舞踏団

4月27日（火） P.M. 6:30開演 神戸国際会館
労音 会費 1100円
出演／サラ・レサナー、ミゲル・サンダバール、アントニオ・ビジャヌエバ、ペビン・サラキール、ファン・サラサール、ペドロ・クアドラー

＜演劇＞

★俳優座公演「ハムレット」

4月15日（木）、11（金）、17（土） 毎夕6:15 開演
神戸国際会館 労音 会費650円 作／シェイクスピア
演出／増見利清 出演／山本圭・佐藤オリエ他

＜美術＞

★金山平三展

4月13日（火）～4月25日（日） 県立近代美術館

★小磯良平展

4月29日（木）～5月23日（日） 県立近代美術館
A.M. 9:20～P.M.5:00（但し入場は4:30まで、月曜休館）

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

*宝飾品 Jewl. Pearls

①宝飾	御木本真珠店	国際会館 1階 22 0 0 6 2 International House
②宝飾	田崎真珠店	さん プラザ 3F 39 4 0 8 5 元町通二丁目 2-motomachi
③宝飾	北村真珠店	元町通二丁目 33 5 7 6 1 2-motomachi
④宝飾	タジマジ	元町通三丁目 33 1 7 9 8 3-motomachi
⑤時計と宝石	美田時計店	トアロード 33 2 3 9 7 Tor Road
⑥宝飾	神戸宝石	

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦紳士服	柴田音吉洋服店	元町通四丁目 34 0 6 9 3 4-motomachi
⑧ネクタイ	元町バザール	33 1 4 0 1 1-motomachi
⑨紳士服	三恵洋服店	元町通四丁目 (34) 1 9 0 4-motomachi
⑩男子洋品	フナキヤ	(32) 0 3 5 6 3-motomachi
⑪紳士服	十字屋洋服店	元町通五丁目 34 2 9 3 8 5-motomachi
⑫洋品雑貨	サノヘ	元町通二丁目 33 4 7 0 7 2-motomachi
⑬ワイシャツ	神戸シャツ	大丸前 33 2 1 6 8 In front of Daimaru
⑭紳士服	洋服の粹渡辺	33 1 6 5 0 Center-Gai
⑮衣生活品	ニッケショールーム	元町通三丁目 33 0 9 0 1 3-motomachi
⑯紳士服	神戸テラーラ	阪急西口・西 33 2 8 1 7 Hankyu west Exit
⑰紳士服飾	ウネ	元町通一丁目 33 3 1 1 2 1-motomachi
⑱紳士シャツ	大和屋シャツ	元町通一丁目 33 6 9 5 6 国際店 25 022 0

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

⑲帽子	マキシム	トアロード 1-motomachi
⑳服飾雑貨	エスター・ニュートン	トアロード 1-motomachi
㉑洋品	スギヤ	トアロード 1-motomachi
㉒ハンドバック	シラサ	元町通二丁目 33 6 8 1 3 2-motomachi
㉓ベビーアイテム	アミリア	元町1丁目 39 5 5 5 トアロード・センター街角
㉔洋傘	オカダ	元町通三丁目 33 0 0 5 1 3-motomachi

洋

裝

ス

ヤ

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

*装身具・服飾品 Accessory · Dress

㉓ベッ甲	太田ベッ甲	元町通一丁目 33 6 1 9 5 1-motomachi
㉔ハンドバック	イクシマヤ	元町通一丁目 33 2 4 1 5 1-motomachi
㉕アキサリー	芸	夢 トアロード 33 2 2 9 3 Tor Road
㉖アキサリー	口ス靴	トアロード 33 1 7 8 1 (代) Tor Road
㉗婦人・紳士靴	クロス靴	大丸前 33 5 1 9 0 In front of Daimaru
㉘婦人・紳士靴	ヨシオカ	力 33 5 1 9 0 Yoshioka Shoes

*和装 Kimono. Geta

㉙呉服	ちんがら屋	風 Center-Gai
㉚呉服	みよしや	月 Center-Gai
㉛衣裳	中川衣裳	堂 Center-Gai
㉜衣裳	つるや衣裳	月 Center-Gai
㉝衣裳	大丸前	堂 Center-Gai

*美容 Beauty Shop

㉗美容	ブルーあきら	月 北野町 3 22 9080
㉘美容	ローズあきら	三宮本通り 33 4461
㉙美容	美容室エリザベス	本店・生田筋 三宮 8 8 9 4 前

*美術・工芸品 Art

㉚美術	元町画廊・若木屋	元町通一丁目 33 2 3 5 9 1-motomachi
㉛画材・額縁	末積製額	トアロード 33 1 3 0 9 Tor Road
㉜工芸	磯川工芸店	トアロード 33 3 4 9 8 Tor Road
㉝美術陶磁器	淡洲堂	七 Center-Gai
㉞新古美術	播	新 元町通三丁目 33 2 5 1 6 3-motomachi

*家具 家庭・文化用品 Furniture · Family

㉟家具	永田良介商店	元町通一丁目 33 3 7 8 7 In front of Daimaru
㉟玩具	カメヤ	元町通三丁目 33 4 9 6 9 Center-Gai

メ

ガ

ネ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

ヤ

二

*ボーリング Bowling

48ボーリング

神戸スター

レーン

49ボーリング

神戸スター

レーン

50ボーリング

51ボーリング

52ボーリング

53ボーリング

54ボーリング

55ボーリング

56ボーリング

57ボーリング

58ボーリング

59ボーリング

60ボーリング

61ボーリング

62ボーリング

63ボーリング

64ボーリング

66ボーリング

67ボーリング

68ボーリング

69ボーリング

70ボーリング

71ボーリング

72ボーリング

73ボーリング

74ボーリング

50ボーリング

51ボーリング

52ボーリング

53ボーリング

54ボーリング

55ボーリング

56ボーリング

57ボーリング

58ボーリング

59ボーリング

60ボーリング

61ボーリング

62ボーリング

63ボーリング

64ボーリング

65ボーリング

66ボーリング

67ボーリング

68ボーリング

69ボーリング

70ボーリング

71ボーリング

72ボーリング

73ボーリング

74ボーリング

75ボーリング

50ボーリング

51ボーリング

52ボーリング

53ボーリング

54ボーリング

55ボーリング

56ボーリング

57ボーリング

58ボーリング

59ボーリング

60ボーリング

61ボーリング

62ボーリング

63ボーリング

64ボーリング

65ボーリング

66ボーリング

67ボーリング

68ボーリング

69ボーリング

70ボーリング

71ボーリング

72ボーリング

73ボーリング

74ボーリング

75ボーリング

50ボーリング

51ボーリング

52ボーリング

53ボーリング

54ボーリング

55ボーリング

56ボーリング

57ボーリング

58ボーリング

59ボーリング

60ボーリング

61ボーリング

62ボーリング

63ボーリング

64ボーリング

65ボーリング

66ボーリング

67ボーリング

68ボーリング

69ボーリング

70ボーリング

71ボーリング

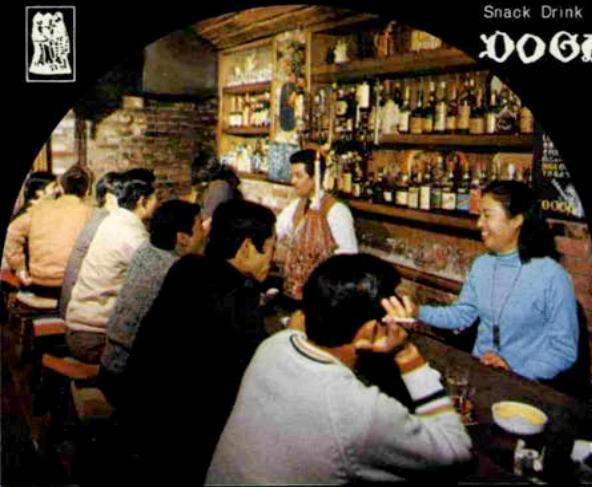
72ボーリング

73ボーリング

YATSUKA CHAIN



Snack Drink
DOGA



白樺のもとで語りあい、ムードも最高に楽しめるお店。
生田神社南 ユーハイム横入る TEL 33-4560



古きヨーロッパ芸術の粹をあつめた格調あるインテリア
三宮東門筋東新ビル地階 TEL 33-9090

●串かつの店一
タ TEL 34-1493
いち いわ

湊川神社前 菊水せんべいビル地階

●純喫茶 スカーレット TEL 35-1149

湊川神社前 菊水せんべいビル 1F

ドガがお贈りするニューヨークシステム!

一枚のチケットで Tam Tam - DOGA - Londonpub と
三軒のお店のハシゴができます。



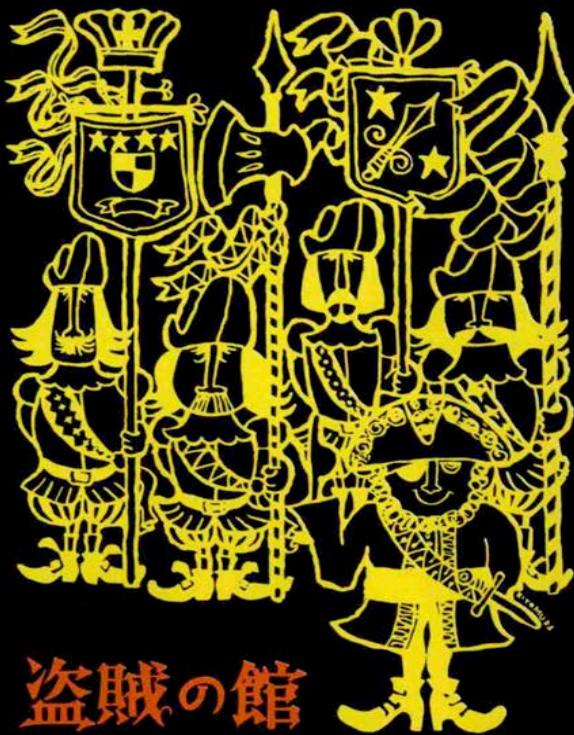
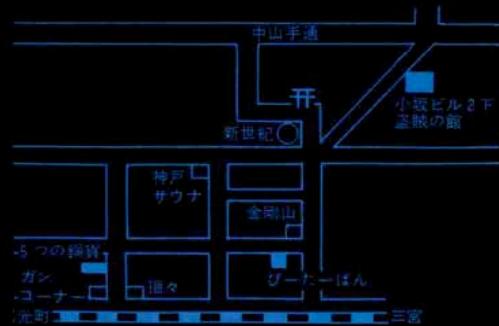
船来居酒屋
ロンドンパブ



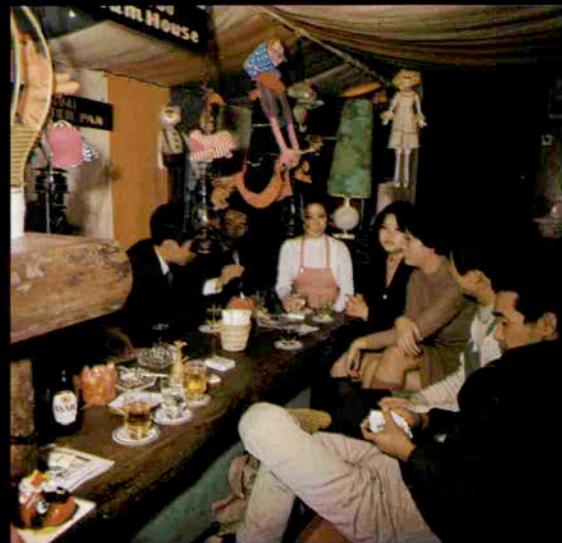
神戸で最初の本格的パブ方式の店。
東門筋ふじやビル 1F TEL 32-0529

●カレーショップ ニュースカーレット

メトロコウベ地下街 TEL 34-7920



でんわ 32・1548



でんわ 39・1438

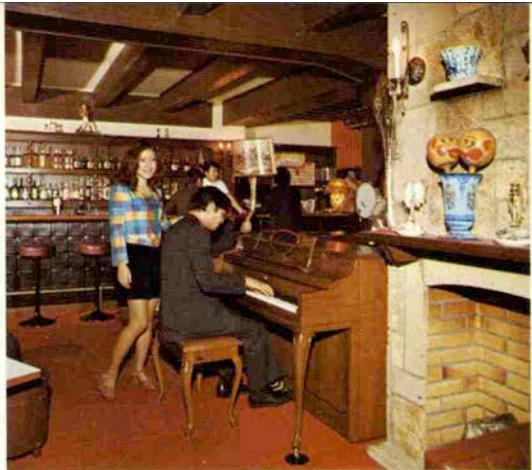
5つの銅貨

GRATIN HUT
CROQUETTE
IN THIS
SHOP
TASTES
WONDERFUL!





DRINK & SNACK
スネカリッ子
中山手通2丁目13
永見ビル地下
TEL 39-8708



Restaurant Bar

最後の1ドル
生田区北長狭通1-41
チェリービル3F
TEL 39-2173

KOBE DRINKING GUIDE

RESTAURANT & COCKTAIL LOUNGE
中山手通2の75
night spot
伊藤ビル5F
LUCKY HILL
TEL. 39-8843
39-8844



club ルカイス
生田区下山手通2-29
コウベビル地下
TEL 39-5065



★4月にもなると冷たい六甲おろしもやわらぎ、暖かい潮風が春の香をのせて神戸を訪れてくる。ここ、生田新道沿い農業会館向いにある“スネカジリッ子”にも春が訪れ、皆の顔にも若やいだ楽しさがあふれている。ダーク調の大変シックなインテリアに囲まれ、若くてダンディなパートンさんたちとの楽しい会話が飲む人の心と心を結んでしまう。一杯のグラスが隣りに坐った見知らぬ人をもたちまち百年の知己にしてしまう、そんな素直なムードをもっているのがこのスネカジリッ子です。



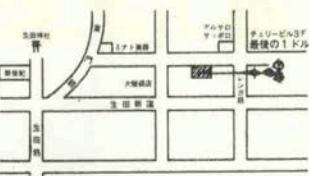
★生田神社西側、伊藤ビル五階に昨秋素晴らしいナイト・スポット“ラッキー・ヒル”がオープンした。ダーク調のゴージャスなインテリアとゆったりとしたテーブルで一流ホテルなみの食事が楽しめ、毎晩7時からピアノの弾語りとラッキー川端氏の素晴らしいジャズボーカルが聞けるのもここならではのもの。フロアがあり歌に合わせて楽しくダンスもできるし、かわいいバニーガールも色をそえている。客筋は音楽関係の芸能人や外人が多いのもこの店の特色だ。どなたでもお手軽な料金でハイクラスの落着いた大人のムードをお楽しみになれます。

P.M. 6:00~A.M. 2:00 年中無休です。

スネカジリッ子

KOBE GUIDE

鹿鳴館



★春の霧が夜の生田新道にひろがる頃、ステンドグラスの輝きが心を捕える。分厚い莊嚴なトピラを押し開くと明治の最盛期鹿鳴館の優雅なムードを演出する、およそ100年前の蓄音機・電話機・ランプ・シルクハット・チター etc と骨董品がぎざり。タキシードの男爵と華麗な貴婦人が夜な夜な出没する、鹿鳴館。

未知の人と友達になりたい方、ピアノやギターを弾いてバンド演奏をなきりたい方、個性のあるクレージーなマスター“ゴリさん”と男臭さの隣さん2人があなたのフリータイムを満足させる。

ホッサ的に中西画伯夫婦直伝の料理も出てくることもある“本物がある店”とはお客様の声。

ビール￥200円 付き出し￥100円 一品料理200~300円

P.M. 6:00~P.M. 12:00まで

オフィスレディの悟味酉訪問 〈33〉



★こころよい春風が吹いてくる夕暮れには

季節がいいと食べ物まで

おいしくなるもの

いくら食べても まだまだ入っちゃう!!

きっと悟味酉の味のせいですヨネ。

薮中多恵子さん (左) 鹿内恵子さん (右)

宝飾店タジマ勤務

さんちかタウン
悟味酉ちゃんこ場
味のれん街 〈39〉 5319
AM 11:30~PM 9:30

鍋もの
炉ばた
阪急西口 〈32〉 3220
〈2階〉
PM 5:00~AM 0:30

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふる里
生田前筋 〈33〉 5535
PM 5:00~AM 0:30

お茶漬・おむすび・鍋もの 悟味酉 / 阪急西口TEL (33) 3848 PM 5:00~PM 0:30